

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業 経常事務事業 **建設事務事業**

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連
 有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	市街地内の狭隘道路の改善事業								
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	係	都市整備係	評価票作成者	都市整備担当係長 下廣信秀	
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	市街地整備・住環境整備		コード	3 2 1
	項	市街地・住宅			単位施策(中)	住環境整備		コード	3 2 1 1
		市街地・住宅			単位施策(小)	市街地内の狭隘道路の改善		コード	3 2 1 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	南部地域狭隘道路地区		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	市内における狭隘道路地区の現状を調査し、今後の整備指針とする。				
1-5 事務事業の内容	市内南部地域における狭隘道路地区について、現況調査を実施する。								

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
	平成18年度	地元住民の理解が不可欠である。	生活道路となっているため改善が必要である。	地元住民は狭隘道路の改善を希望している。
	平成19年度	〃	〃	〃
	平成20年度	〃	〃	〃
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
平成27年度				

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名	前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	調査進捗率(%)=個別事務事業期間÷全体の事務事業期間	59(%)	100(%)	狭隘道路の調査の進捗状況を表す指標

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a(単位)	0	0	23.1(%)							
	直接事業費 b(千円)	0	0	0							
	人件費 c(千円)	0	0	1,987							
	合計コスト d(b+c)(千円)	0	0	1,987							
単位コスト d/a(千円)	当たり 0	当たり 0	1%当たり19	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 6,624千円×3人×0.1=1,987千円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(%)	0	0	23.1							
	後期目標値に対する達成度(%)	0	0	23.1							

3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果 (アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度 担当課評価		-	-	A							

4段階評価結果
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準
 必要性(必要な事務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
		平成18年度	地元住民の状況把握が必要。	調査結果を分析し地元住民に周知をしていく。
平成19年度	〃	〃	〃	〃
平成20年度	狭隘道路の現況把握と位置付けが必要。	引き続き調査を実施する。	狭隘道路のうち建築基準法第42条第2項道路の該当箇所を洗い出す作業を実施している。	
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		-	
平成19年度		-	
平成20年度		A	継続して事業を進めること。
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			